



議会だより

たむら

2018
第54号

平成30年8月1日発行





6月定例会のあらまし

平成30年6月定例会は6月4日から6月15日までの12日間にわたって開かれました。市長より条例の一部改正、平成30年度一般会計及び国民健康保険特別会計補正予算などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。また、陳情が採決されたことを受け、議員発議による意見書提出の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

定例会で審議された議案

区分	番号	件名	議決結果
発議	1号	待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出について (提出者 大橋 幹一 議員)	原案可決
	2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について (提出者 照山 成信 議員)	原案可決
議案	46号	税条例の一部改正	すべて 原案の とおり 可決
	47号	地方活力向上地域における田村市税の特例に関する条例の一部改正	
	48号	市立学校設置条例の一部改正	
	49号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
	50号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
	51号	国民健康保険税条例の一部改正	
	52号	介護保険条例の一部改正	
	53号	保健センター条例の一部改正	
	54号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	
	55号	清掃施設条例の一部改正	
	56号	カブトムシ自然の森条例の一部改正	
	57号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	
	58号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
諮問	2号	人権擁護委員の候補者の推薦	適任
	3号	教育長の任命	同意
同意	4号	教育委員の任命	同意

○市立学校設置条例の一部改正

平成31年4月1日に、西向小学校と関本小学校を常葉小学校に統合するための条例改正であり、原案のとおり可決しました。



○財産の取得

去る4月26日に入札を行った財産の取得について、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。(詳細は下表のとおり)



購入予定と同型の小型動力ポンプ積載車

取得する財産	消防小型動力ポンプ積載車 4台	消防ポンプ車 1台
取得の方法	指名競争入札	指名競争入札
取得金額	2,440万8,000円	2,073万6,000円
取得の相手方	有限会社 渡辺鉄工消防用品 代表取締役 渡辺 治	有限会社 渡辺鉄工消防用品 代表取締役 渡辺 治

○平成30年度補正予算

平成30年度一般会計補正予算に対して反対意見があり、採決を行いました。採決の結果、賛成多数で可決しました。また、国民健康保険特別会計補正予算も提出され、原案のとおり可決しました。予算額については、下表のとおりです。

○一般会計補正予算

補正額 (補正後予算総額)	補正の主な理由
7.2億8,063万4千円増 (33.5億6,438万1千円)	歳入 地方交付税、国庫支出金、 県支出金、繰入金等の増額 歳出 総務費、民生費、衛生費、 農林水産業費等の増額 教育費の減額

○各特別会計補正予算

会計名称	補正額	補正後予算総額
特別会計 国民健康保険	1億7,904万0千円増	4.2億1,894万0千円

6月定例会賛否一覧表

※意見が分かれた議案等について掲載しました。

議案等名	会派名 議員名	議決結果	賛成 反対	市民net たむら				政友会			市民 クラブ			新政 たむら 未来		声を きく会			至誠会		無会派		
				菊地 武司	大橋 幹一	渡邊 照雄	吉田 文夫	猪瀬 明	半谷 理孝	照山 成信	土屋 省一	橋本 紀一	長谷川 元行	石井 忠治	安井 信重	石井 忠重	白石 高司	二瓶 恵美子	白石 勝彦	遠藤 正徳	大和田 博	木村 高雄	無会派 佐藤 重実
議案第57号 平成30年度一般会計補正予算 (第2号)		原案 可決	12 : 7	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

●反対討論(木村 高雄議員)

農林水産業費に計上されている木質バイオマス施設等整備事業費について、当初計画の燃料となる木材チップにパーク(樹皮)は含まないこと。チップ工場を隣接して建設しないこと。の2点を、パークも燃料として使用する。チップ工場を産業団地内に建設する。と計画を変更したことで、放射能汚染に対する地元住民の不安などが懸念され、当初計画に戻すべきであることから、本補正予算に反対する。

○賛成討論(吉田 文夫議員)

バイオマス発電事業の安全確保対策として、放射線物質の管理として、自主基準を設け、100ベクレル以下の木材チップのみを使用すること。排ガス処理対策として、バグフィルターに加え、高性能フィルターであるヘパフィルターを設置し、フィルターを二重構造化すること。県内における森林の空間線量が減少し、材木活用が可能な森林面積が増えていることなどから、本補正予算に賛成する。

請願・陳情

6月定例会において、陳情3件が審議されました。その結果は下記のとおりです。

陳情

○待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出を求める陳情書 **【採択】**

陳情者 福島県保育連絡会 世話人代表 大宮 勇雄

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について **【採択】**

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会田村地区連合会 議長 白岩 進一郎

○意見書提出に関する陳情書（田村市大越町の産業団地内木質バイオマス発電所建設に係る意見書の提出について） **【継続審査】**

陳情者 大越町の環境を守る会 代表幹事 久住 秀司

○議員発議による意見書の提出

6月定例会で審議された「待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出を求める陳情書」及び、「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出を求める陳情」が、本会議において、それぞれ全会一致で採択されたことに伴い、議員発議により、内閣総理大臣ほか関係する各大臣等に対する意見書提出議案が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。（審査の詳細はP 12～13をご覧ください。）



○人権擁護委員の推薦

本年9月30日をもって任期満了となる人権擁護委員1名を右表のとおり再任を推薦する諮問があり、適任としました。

区分	氏名	住所	生年月日
再任	猪狩 誠 (いがり まこと)	大越町牧野字岡田 138-1	昭 25.10.20

○教育長の任命

本年6月30日をもって任期満了となる教育長について、下表の方の任命に同意しました。

区分	氏名	住所	生年月日
再任	飯村 新市 (いひむら しんいち)	郡山市亀田二丁目 17-8	昭 32.5.11

○教育委員の任命

本年6月30日をもって任期満了となる教育委員1名について、下表の方の任命に同意しました。

区分	氏名	住所	生年月日
新任	柳沼 かおり (やぎぬま かおり)	船引町東部台四丁目 188	昭 54.10.16

全国市議会議長会特別表彰

去る5月30日に行われた第94回全国市議会議長会定期総会において、照山成信議員が表彰されました。

この特別表彰は、合併前の旧町村議会議員としての在職期間の2分の1と、合併後の市議会議員としての在職期間を通算し、10年以上議会議員の職にある者またはあった者に贈られます。



照山 成信 議員
田村市議会議員 6年3カ月
旧船引町議会議員 9年3カ月

4名の方が代表質問、8名の方が一般質問しました。

市政全般について質問することが代表質問、様々な課題等について詳細に質問することが一般質問です。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）を議員ごとに掲載しておりますので、ご覧ください。

市政全般	代表	市長公約の進捗状況について	菊地 武司議員	P6
		田村市の財政状況について	//	//
		田村市大改革について	白石 高司議員	//
		田村市財政危機について	//	//
	一般	たむら市政だより4月号について	木村 高雄議員	P9
		出張所の充実について	半谷 理孝議員	P10
		「稼ぐ自治体」としての財政対策の現状と諸課題について	土屋 省一議員	P11
		市民の顕彰について	照山 成信議員	//

まちづくり	代表	ICT活用による「街情報」の収集・発信について	渡邊 照雄議員	P9
		人口減少対策について	半谷 理孝議員	P10
		空き家対策について	//	//

保健・福祉	代表	健康増進と福祉対策について	菊地 武司議員	P6
	一般	高齢者福祉について	吉田 文夫議員	P8
		高齢者福祉について	渡邊 照雄議員	P9
		活力あるまちづくり、気力あふれる福祉のまち宣言について	白石 勝彦議員	P10

産業・観光	一般	田村市東部産業団地整備事業について	吉田 文夫議員	P8
		観光PRについて	二瓶恵美子議員	//
		国民健康保険制度について	木村 高雄議員	P9
		再生可能エネルギーと木質バイオマス発電事業について	白石 勝彦議員	P10
		観光事業の国際化について	//	//

安心・安全	代表	船引町中心エリアの都市計画について	石井 忠治議員	P7
		生活道の整備計画について	//	//
	一般	市道整備について	渡邊 照雄議員	P9
		消防団を中核とした地域防災力の充実強化と取り組みについて	土屋 省一議員	P11
		市道春山三合内線の拡幅改良について	照山 成信議員	//

原発関連	一般	放射能に汚染された家畜排せつ物について	木村 高雄議員	P9
------	----	---------------------	---------	----

教育	代表	先駆的教育行政の推進について	石井 忠治議員	P7
		給食費について	長谷川元行議員	//
		複合施設について	//	//
		パークゴルフ場について	//	//
	一般	教育振興について	吉田 文夫議員	P8
		児童・生徒の教育環境等について	二瓶恵美子議員	//
		田村市の小・中学校のあり方について	照山 成信議員	P11

※代表質問や一般質問の方の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取ると、ユーチューブの録画映像にアクセスできますのでご利用ください。



市民 net たむら
菊地 武司議員

大越町への医療機関の誘致は。

平成32年4月の開所に向け整備を進めます。



市長選挙公約の進捗状況について

Q ①大越町への医療機関の誘致は。

A (市長)

①運営事業者審査委員会による選考の結果、常葉町の「まつぎき内科胃腸科クリニック」院長の松寄博記氏に決定し、県道船引大越小野線と郡山大越線の交差点付近を予定地として、平成32年4月の開所に向け施設整備を進めております。

田村市の財政状況について

Q ①職員定員管理計画の策定と計画的な人件費削減策は。

A (総務部長)

①現在の田村市の財政状況では、総人件費の抑制が改革の重要な達成手段の一つとなり、行財政規模に見合った定員管理に特化した計画を進めていきます。具体的内容として、目標を現在の職員数440人から350人程度に削減することとし、達成までの期間等は年度内に詰めてまいります。

健康増進と福祉対策について

Q ①予防医療の取り組みは。

A (保健福祉部長)

①健康診査及びがん検診の結果に基づく保健指導や医療機関への受診勧奨等に取り組んでおりますが、本年度は、糖尿病や高血圧症にポイントを絞った訪問保健指導を重点に行います。また、市内に45か所ある住民主体の運動サロン「いきいき田村元気塾」を、平成32年度までに120か所の立上げを目標とし、立上げ支援や外部指導者による専門的な介護予防事業に取り組んでいきます。



運動サロン

その他

・田村市テレワークセンター「テラス石森」について質問を行いました。

財政危機に取り組む基本は。

歳出削減を徹底して行うほかありません。



声をきく会
白石 高司議員

田村市大改革について

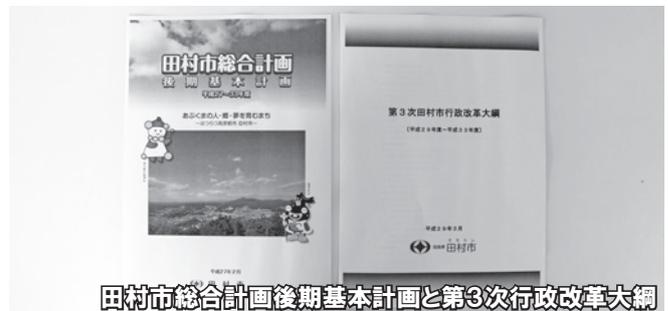
Q ①行政改革大綱と田村市大改革との位置付けと違いは。

②田村市大改革の完成した姿と達成見込み時期は。

A (市長)

①行政改革大綱は、「田村市総合計画後期基本計画」に掲げられた基本方針の「行財政改革の推進」を具体化したものと位置付けられており、また、田村市大改革は、市長選立候補に当たって示した政治姿勢であり、市民との約束の位置付けと考えています。行政改革大綱と田村市大改革の違いは、大綱は市が市民に示した公の憲章で、重点項目に関わる行政事案・行為は大綱に則して行う義務を負うものです。一方、大改革宣言は、選挙に際し一方的に示した約束であります。実際に掲げた施策は共通するものが多く、目指す方向は同じと認識しています。

②大改革の完成形は、市民目線で元気なまちづくりを実現することです。また、大改革の達成時期は、施策ごとに歩みが異なることから、一概に終結時期を明らかにすることはできず、改革に終わりや切れ目はないものと考えます。



田村市総合計画後期基本計画と第3次行政改革大綱

田村市財政危機について

Q ①財政危機に取り組む基本は。

②自由に使える財源の優先的な活用は。

A (行財政改革推進監)

①基金を取り崩すことなく予算編成ができる、安定した財政基盤を構築するためには、自主財源の確保と行財政改革による歳出削減を徹底して行うほかありません。

②財政の健全化を推し進め、自由に使える財源を市民のために捻出し、働く場の確保、産業の創出、子育て支援、健康寿命の延伸に向けた取り組みなど、自治体として持続可能な基盤の確立と市民が夢と希望を感じられる市を創造する事業に活用する考えです。



新政たむら未来
石井 忠治議員

上下水道網の整備計画は。

必要に応じ、効果的な拡充を図ります。



船引町中心市街地周辺エリアの都市計画について

- Q ①宅地開発と住宅建設の現状と課題は。
②上下水道網の先行整備計画は。

A (市長)
①市が実施する宅地開発計画はありません。また、船引地区の建築件数は平成27年度から3ヵ年で158件となっており、課題は、課税地目基準の見直しなど有効な土地利用が図られるよう、誘導をする必要があると考えております。
②船引町扇田地区で優良な宅地造成が見込めると判断し、道路改良と併せ先行的な上下水道の整備を進めており、また、国道288号船引バイパス沿線の開発が進み、給水需要が増えると予想されることから、必要に応じ上下水道連携のもと、効果的な整備拡充を図っていきます。

生活道の整備計画について

- Q ①本年度計画路線数及び延長と事業完了予定は。

A (建設部長)
①滝根町11路線、延長697m、常葉町20路線、延長865m、船引町16路線、延長1,600mを予定しており、滝根町及び常葉町は本年度で完了予定ですが、船引町は完了まで3年程度かかる見込みです。

先駆的教育行政の推進について

- Q ①先駆的な小中一貫教育の取組みは。

A (教育長)
①平成31年4月に関本小学校と西向小学校の統合を予定している常葉小学校で、6年生が小中学校両方の校舎を使用して学びができる「校舎併用型の小中一貫教育」を導入したいと考えております。



統合する常葉小学校

その他
・新天皇即位に伴う新元号の制定に関する記念事業について
・主要河川の改修及び適正管理について
質問を行いました。

給食費無料化の条件と方針は。

財源の確保が必須条件です。



市民クラブ
長谷川 元行議員

給食費について

- Q ①給食費無料化のための条件と方針は。

A (教育部長)
①完全無料化した場合、小学校で9,023万円、中学校で5,937万円、幼稚園で751万円の合計1億5,711万円の財源が必要となり、毎年同程度の財源の確保が必須条件です。

複合施設について

- Q ①複合施設の整備方針と進捗状況は。

A (市長)
①生涯学習等複合施設については、財源の確保も踏まえ、基本構想に示された規模や機能について改めて見直しを進めます。



複合施設の建設予定地となっている船引公民館

パークゴルフ場について

- Q ①パークゴルフ場新設の計画は。

A (教育部長)
①2か所を候補地として検討を進めています。整備費用や利便性、管理運営方法を慎重に検討し、平成33年度中の開設を目指します。

救急医療について

- Q ①救急医療機関の誘致は。

A (保健福祉部長)
①これまで国への病院設置の要望、厚生病院の誘致活動などを行ってきましたが、病床数の規制があり具体化の見通しはたっておりません。

その他
・道の駅について
質問を行いました。



高齢者の「ゴミ出し支援」の対策は。

担い手の養成と体制の構築を進めます。



吉田 文夫議員

田村市東部産業団地整備事業について

- Q ①産業創出の取り組みは。
②インフラ整備と広域連携事業の取り組みは。

A (市長)
①福島イノベーションコースト構想(※1)推進機構との連携を図り、産業創出につなげていきます。
②上下水道やアクセス道路の一部改良など、交通事情改善のため、インフラ整備を行っていきます。

教育振興対策について

- Q ①ふくしまの家庭学習スタンダードの取り組みは。
②学校給食の目標の具体的取り組みは。

A (教育長)
①中学校区ごとに、学習内容や方法を示した「家庭学習の手引」を作成・配布し、効果的な学習となるよう個々に応じた具体的な指導をしています。
②学校給食法に掲げられている7つの目標実現のため、食に関する教育、セレクト給食、給食試食会、テーブルマナー給食、希望献立給食、バイキング給食などに取り組んでいます。



学校給食(滝根小学校)

高齢者福祉について

- Q ①介護職員に対する入所者からのセクハラは。
②「ゴミ出し支援」の対策は。

A (保健福祉部長)
①詳細な実態は把握していませんが、先の介護保険事業計画策定時の介護事務所アンケートやヒアリングでは、そのような行為は確認していません。
②現在は実施していませんが、無資格者でも提供可能なサービス、高齢者に必要なサービスを検討しており、担い手の養成と体制の構築を進めてまいります。

その他
・農林業・地域の活力創造プランについて
質問を行いました。

※1 福島イノベーションコースト構想・・・東日本大震災及び原子力災害の被災地の産業の回復を目的に、当該地域の新たな産業基盤を目指すもの。

市内観光への取り組みは。

より効果の高い広報活動を展開します。



二瓶 恵美子議員

観光PRについて

- Q ①市長公約の市内観光への取り組みは。

A (市長)
①桜PR専用ウェブサイトへの動画投稿やフリーペーパーへの掲載等、「桜」を生かした観光PRに取り組んでいます。PRを兼ねた特産品の販売促進として、デンソーバレーボールチームのスポンサー契約によるオリジナル天然水の販売、また、FSGカレッジリーグ(※2)との協定締結による「あぶくま洞イルミネーション」を実施しました。地方創成分野で活躍する方々を「経営戦略アドバイザー」に委嘱し、今後の観光客の動向把握など、より効果の高い広報活動を展開していきます。



桜パンフレット

児童・生徒の教育環境等について

- Q ①市内児童・生徒の眼鏡使用率と使用率低下に向けての施策は。
②市内で確認された声かけ事例と具体的対策は。

A (教育部長)
①小学生は、1年生4%、3年生3.8%、3年生6.4%、4年生9.7%、5年生11.9%、6年生18.2%、中学生は、1年生21.1%、2年生34.7%、3年生38.8%です。今後とも学習や読書の日常生活における正しい姿勢の指導や、家庭でのゲーム、スマートフォンの適切な使用など、保護者への啓発と協力を努めます。
②本年度、登下校する小中学生、高校生への声かけ事案が発生しましたが、いずれも実害はありませんでした。声かけ事例への対策については、学校から児童生徒への注意喚起とともに、メール配信や文書で保護者に通知しています。

その他
・県発行「来て」のパンフレットの認識と掲載内容等について
質問を行いました。

※2 FSGカレッジリーグ・・・専門学校5校からなる郡山市にある福島県最大級の専門学校グループのこと。



公明党
渡邊 照雄議員

街情報の収集・発信のICTの活用は。

SNSを活用した提供も検討します。



ICT（※3）活用による「街情報」の収集・発信について

Q ①街情報の収集・発信のためのICT活用は。

A (市長)

①ホームページやフェイスブックを活用していますが、今後はSNS（※4）を活用したアプリケーションの提供も前向きに検討します。

高齢者福祉について

Q ①認知症の現状は。

②2020年までの認知症サポーター数は。

A (保健福祉部長)

①国が示す認知症有病率推定値から、市の認知症有病者は約1,850人、正常な状態と認知症の中間状態である方は約1,600人程度と推計されます。

②認知症サポーター養成講座の受講者は本年3月末現在で3,608人であり2020年までには5,000人以上になるよう取り組みます。



認知症サポーター養成講座受講者に配布されるオレンジリング

市道整備について

Q ①松山牧場線の舗装計画は。

②田和上線の拡幅計画は。

③余平田・田代線拡幅計画は。

A (建設部長)

①未舗装区間の1,780mのうち昨年度は600mを舗装し今年度は約100mの舗装工事を予定しています。

②田和上線未改良区間1,417mの整備計画については、交通量の動向を踏まえ検討します。

③田代方面に至る未改良区間については、維持工事などにより、狭隘解消に努めます。

その他
・教育行政について
質問を行いました。

※3 ICT・・・情報通信技術の略であり、情報技術の使い方を含めた、活用方法と一緒に新しいサービスを考えること。

福祉施設の定義は。

各種相談などの便宜を供与することが目的です。



日本共産党
木村 高雄議員

放射能に汚染された家畜排せつ物について

Q ①保管されている家畜排せつ物の搬出処分方法、件数及び数量は。

A (産業部長)

①汚染された家畜排せつ物の件数及び数量は、市全体で152地点、総量約9,490tで、所有する敷地内に一時保管しており、搬出処分方法は、一時保管場所から減溶化施設へ搬出し、本年10月を目標に市内の搬出作業を終了いたします。



一時保管されている家畜排せつ物

たむら市政だより月号について

Q ①財政危機の定義は。

②福祉施設の定義と今後の方針は。

A (市長)

①財政危機は、財政用語として具体的に定義付けるものではなく、破綻前の危機的な状態にあることを財政危機と表現し、市の厳しい財政状況を市民に知らせる際の、分かりやすい表現として用いました。

②福祉施設は、各種相談や教養の向上などの便宜を供与することを目的としています。適正な施設の配置と効果的な活用ができるよう、指定管理・民営化、統廃合などを進めていきます。

国民健康保険制度について

Q ①国保県単位化に伴うメリット・デメリットは

②一世帯当たり、一人当たりの昨年度と比較した国保税率は。

A (市民部長)

①多数回に該当する場合の一部負担が軽減されることと、急激な医療費の伸びに際し、財政運営の安定化など、被保険者と市町村の双方にメリットがあると考えます。なお、デメリットは無いものと考えます。

②一世帯当たり1万8,399円、一人当たり8,644円下がる見込みです。

※4 SNS・・・インターネットを介して、人間関係を構築できるスマートフォンやパソコン用のWebサービスの総称のこと。



出張所の補助員の増加は。

増員の考えはありません。



半谷 理孝議員

人口減少対策について

Q ①結婚支援の実態と成果及び課題と今後の戦略、仲人への報酬制度の導入は。

A (市長)

①結婚支援は、昨年度から新婚世帯に対する住宅の取得や賃借、引越し費用の補助を行い、4組に交付しています。その他として、婚活イベントを実施する民間団体への補助、独身男女向けのセミナーを実施しており、今後も継続していきます。仲人への報酬制度の導入予定はありません。

空き家対策について

Q ①行政局ごとの空き家数及び市が販売・賃貸等の紹介が可能な物件の比率等は。

A (総務部長)

①平成27年度で、滝根町58戸、大越町85戸、都路町109戸、常葉町120戸、船引町316戸となっております。このうち所有者アンケートにより販売や賃貸の希望が114戸で、比率は16.6%ですが、活用が可能と思われる物件は、77戸の11.2%です。



空き家バンク登録物件

出張所の充実について

Q ①出張所の補助員の追加は。

A (総務部長)

①本年4月から組織のスリム化、行政の効率化の観点から、7人から4人に削減しておりますが、出張所における緊急時などの対応として、出張所間の調整や本庁勤務職員を事務応援要員として体制整備していることから、増員の考えはありません。

その他

・シニア世代の雇用支援について質問を行いました。

※5 パリアフリー・・・障害者や高齢者等が、生活の支障となる障害や、精神的な障壁を取り除くための施策のこと。

再生可能エネルギーの将来構想は。

環境に配慮しながら実施に努めます。



白石 勝彦議員

再生可能エネルギーと木質バイオマス発電事業について

Q ①再生可能エネルギーの将来構想は。

②木質バイオマス発電の計画変更に対する陳情採択後の説明は。

A (産業部長)

①資源循環型社会の実現に向け、環境に配慮しながら実施に努めます。
②事業者には、陳情採択後速やかに口頭で伝えるとともに、市民へは4月中旬に市内全戸にチラシを配布したほか、大越町上大越地区を対象に戸別訪問を行い意見や要望を伺いました。

活力あるまちづくり、気力あふれる福祉のまち宣言について

Q ①行政の旗振支援による取り組みは。

②「自然豊かな福祉のまち田村」を宣言すべき。

A (保健福祉部長)

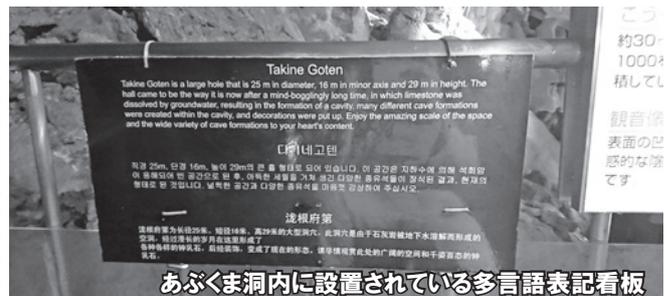
①民間活力の導入を積極的に進め、林業とバイオマス発電、農業と6次化産業など地域資源の循環を図ります。
②ハード面のバリアフリー（※5）化とあわせて心のバリアフリー化を進め、福祉のまち宣言を検討します。

観光事業の国際化について

Q ①スマートIC出口への多言語表記の看板設置は。
②子どものためのネイティブ英会話の集いの常設化は。

A (副市長)

①良好な景観の維持や管理の面から、しっかりと調査したうえで判断します。
②語学力向上にとどまらない、幼少期からの外国語、異文化に触れる機会を設けてまいります。



あぶくま洞内に設置されている多言語表記看板

その他

・二次救急医療体制について質問を行いました。



土屋 省一議員

消防団応援事業の取組みは。

団員証の発効と市内企業への周知等を行います。



「稼ぐ自治体」としての財政政策の現状と諸課題について

- Q ①稼ぐ力の向上策の現状と今後の取組みは。
②遊休施設の活用事例と課題は。

A (市長)

①テレワークセンターの開設や外部アドバイザーからの支援などにより、民間主体の投資や所得・雇用の増加を誘導するための取組みを開始しており、今後は、若い世代を中心に安心して働ける雇用の創出と、税収の確保を進めます。
②活用事例として、旧菅谷小学校跡地及び旧田村市役所本庁舎を民間事業者へ売却し、旧石森小学校をテレワークセンターに、旧大越保健センターを田村市社会福祉協議会に貸付けを行いました。課題は、土地・建物の構造や規模、売却価格や賃貸料などが民間需要と乖離（かいり）しており、利活用を図る上で大きな課題となっています。



テレワークセンターとして活用されている旧石森小学校

消防団を中核とした地域防災力の充実強化と取組みについて

- Q ①消防団応援事業の取組みは。
②消防車両の保有台数と道路交通法改正後の普通免許で乗れる台数は。
③団員の準中型免許取得希望者への支援は。

A (市民部長)

①一昨年から、「ふくしま消防団サポート企業」事業が開始され、事業に賛同する企業が消防団やその家族に対し、温泉施設等の利用料割引など様々なサービスを提供するものです。団員証を提示すればそのサービスが受けられることから、市では、団員証の発効と市内企業に消防団サポート企業に登録されるよう、事業周知等を行っていきます。
②ポンプ車が14台、水槽付ポンプ車が4台、積載車が65台、軽積載車が7台の計90台で、うち、普通免許で乗れるのは39台です。
③他市町村の動向を見極め検討します。

その他

・田村市人口ビジョン、地域創生総合戦略の検証並びに人口減少社会への対応と課題について質問を行いました。

大倉地区顕彰の再考検討は。

該当しないとの判断は、現在も変わりません。



照山 成信議員

市道春山三合内線の拡幅改良について

- Q ①市の具体的対策は。

A (建設部長)

①地元からの要望に応える形で狭隘、急勾配箇所の部分改良や落蓋型の側溝敷設工事を行うなど、車輛の安全な通行確保に努めており、今後においても必要な措置を講じます。



市道春山三合内線

市民の顕彰について

- Q ①「移再生プロジェクト」顕彰の再考検討は。
②大倉地区顕彰の再考検討は。

A (市長)

①復興事業組合の構成員として、除染作業を請負い、他の事業者と同様に代金を受け取っているため表彰基準には該当しないと判断しており、現在も変わっていません。
②大倉地区に限らず、他地域からの汚染物を受け入れた地区は市内各地に及んでおり、表彰基準には該当しないと判断しており、現在も変わっていません。

田村市の小・中学校のあり方について

- Q ①小学校における複式学級の運営と具体的対策は。

A (教育長)

①変則複式や多人数の複式学級には各校1人の加配教員が配置され、国語や数学等は学年ごとに学習が進められています。加配のない学校には複式学級指導支援員を配置し、複式学級担任の指導力向上に向け、指導主事による助言等を行い、教育活動の充実が図られるよう努めます。

その他

・大倉行政区内「市道鼠喰道線」拡幅改良について質問を行いました。

総務文教常任委員会

委員長 半谷 理孝

6月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例の一部改正1件が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

市立学校設置条例の一部改正

問 統合までの今後のスケジュールは。

答 (教育総務課)

統合準備委員会において、スクールバス運行や閉校にかかる取り組みを小委員会を設けて検討します。

問 小中一貫教育の内容は。

答 (教育総務課)

小中学校が隣接している環境を活かし、例えば、中1ギャップと呼ばれる中学校入学時の環境変化を緩和する取り組みなどが考えられますが、具体的な内容は現在検討中であります。

所管事務調査

6月12日に「財政状況に関すること」と「パークゴルフ場整備計画に関すること」の所管事務調査を行いました。



所管事務調査

市民福祉常任委員会

委員長 大橋 幹一

6月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正9件、財産の取得2件の合計11件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情1件の審査も行われ、審査の結果、採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 放課後児童健全育成事業の概略及び放課後支援員は何名いるのか。

答 (こども未来課)

放課後児童健全育成事業については、放課後児童クラブなどが該当し、放課後児童支援員の資格を取得しているものは、市内で9名となっています。

介護保険条例の一部改正

問 介護保険料の納付率及び納期を8期とした理由は。

答 (高齢福祉課)

納付率は平成29年度が90.11%となっており、納期を8期とした理由は、県内他団体を参考にするとともに、国民健康保険税と同じく8期としました。

財産の取得

問 指名業者の数及び落札率は。

答 (生活環境課)

指名業者は市内1社、市外3社の計4社であり、落札率は98.43%でありました。

陳情の審査結果

「待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出を求める陳情書」は、全国的な課題となっている待機児童の解消を図るため、国に対し認可保育所整備のための事業者の財政負担を軽減するための財源措置を求めるとともに、「保育の質」の確保のための総合的な対策を求めるとのことから、保育所等整備交付金の増額・拡充と保育士などの配置基準の見直し及び賃金の引き上げなどの処遇改善を図るよう、政府に対して意見書の提出を求めるものであり、市においても待機児童は課題となっており、国に対して財政支援の拡充及び保育士の処遇改善を求めるための陳情の主旨は十分理解できることから、審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定されました。



市民福祉常任委員会審査状況

産業建設常任委員会

委員長 照山 成信

6月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、条例の一部改正1件が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情2件の審査も行われ、審査の結果、1件は継続審査となり、1件は採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

カブトムシ自然の森条例の一部改正

問 昆虫館の開園期間が短くなるが、短縮する期間の観光客の対応は。

答 (観光交流課)

昆虫館の最盛期が夏場の期間であり、その後は入園者が少ないことから開園期間の改正を行うが、現在、特別展を企画する予定であり、その反響が良ければ開園期間を延長する可能性もあります。

陳情の審査結果

①「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」については、福島県の最低賃金は2006年発効分から長期に渡り、全国水準で31位と低位にあるなど、県内勤労者の賃金水準や経済実勢などと比較しても極めて低く、一般的な賃金の実態に見合った十分な水準の引き上げが極めて重要であることから、最低賃金の引き上げと、改定諮問の早期発効などを行うよう、政府に対して意見書の提出を求めるものであり、最低賃金を政府の掲げる目標額相応に引き上げることは経済を支える上でも極めて重要であり、陳情の趣旨は十分理解できることから、審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定されました。

②「意見書提出に関する陳情書 田村市大越町の産業団地内木質バイオマス発電所建設に係る意見書の提出」については、地元住民の不安を払拭するためにも、より深く精査する必要があるとの意見が出され、継続審査を要するものと決定されました。

所管事務調査

6月12日に「田村市東部産業団地整備事業の概要について」の所管事務調査を行いました。



所管事務調査(東部産業団地整備予定地)

予算常任委員会

委員長 土屋 省一

6月定例会委員会審査

予算常任委員会には、平成30年度各会計補正予算議案2件が付託され、原案のとおり可決されました。主な審査内容については、次のとおりです。削除

平成30年度一般会計補正予算

問 除染除去物輸送の入札内容と積込場の箇所数は。また仮置き場の整備については。

答 (生活環境課)

一時仮置き場から積込場までの除染除去物の端末輸送については市で入札を行い、積込場から減容化施設・中間貯蔵施設までは国で実施します。積込場は12箇所を予定しています。仮置き場は原型復旧し返却する予定ですが、今年度は現状のままとなります。



予算常任委員会審査状況

問 木質バイオマス発電事業の燃料及び排ガス中の放射性物質の捕捉対策は。

答 (商工課)

燃料は100ベクレル以下のパーク付チップを含むチップに限定し、原木も線量の低い地域指定をしたものとします。また、排ガス中の放射性物質の捕捉対策として、バグフィルターに加え、高性能フィルターであるヘパフィルターを設置し、フィルター二重構造化して安全管理対策を講じます。

問 産業団地の汚染土壌対策として今回搬出するものは何か。

答 (商工課)

住友大阪セメントにてセメントを作った後に排出される六価クロムの搬出となります。

平成29年度 田村市議会政務活動費収支報告

(単位：円)

会派（議員）名	市民net たむら	政友会	たむら 志政会	市民クラブ	新政 たむら 未来	木村高雄	遠藤正徳	白石勝彦	計
交 付 額	1,440,000	720,000	720,000	700,000	540,000	0	120,000	220,000	4,460,000
支 出 額	調査研究費	479,012	335,579	515,762	512,017	235,755	0	22,307	2,271,161
	研 修 費	33,790	0	0	0	83,356	0	95,978	213,124
	広 報 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情 活 動 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	860	18,130	2,500	2,970	0	0	0	24,460
	資料購入費	13,923	17,436	0	0	0	0	2,400	34,209
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	527,585	371,145	518,262	514,987	319,111	0	120,685	171,179	2,542,954
返 還 額	912,415	348,855	201,738	185,013	220,889	0	0	48,821	1,917,731
支出割合 (%)	36.64%	51.55%	71.98%	73.57%	59.09%	0.00%	100.00%	77.81%	57.00%
備 考	大橋 幹一 安瀬 信一 渡邊 照雄 箭内 仁一 菊地 武司 遠藤 雄一	猪瀬 明 半谷 理孝 宗像 公一	白石 恒次 照山 成信 大和田 博	土屋 省一 橋本 紀一 長谷川元行	石井 忠治 吉田 文夫 遠藤 正徳 (11月～ 3月)	無会派 の議員	無会派 の議員 (5月～ 10月)	無会派 の議員 (5月～ 3月)	

★小中学生のみなさん議会を傍聴してみませんか★

学校の社会科学習の一環として、市議会本会議を傍聴してみませんか？

市議会の本会議はどなたでも傍聴することができます。小中学生の皆さんが傍聴を希望する場合は、学校を通じて事前に申込み必要がありますので、議会事務局までお問い合わせください。



6月定例会を傍聴した関本小学校の6年生の皆さん

請願・陳情のお知らせ

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

○請願（陳情）書の書き方と提出方法

請願書などは、議会事務局へ直接持参してください。なお、定例会開会の5日前（土日祝日を除く）に開かれる議会運営委員会前日午後5時までに受付したものは、当該定例会で審議するかどうかを議会運営委員会で判断しますが、それ以降に受付したものは、次の定例会前の議会運営委員会で審議するかどうか判断することになります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

【記載例】 請願（陳情）書
 平成 年 月 日
 田村市議会議長 ○○○○ 様
 請願者 住所 ○○○○○○○○
 （陳情者）氏名 ○○○○○○ 印
 （連絡先）電話番号 ○○○○○○○○
 紹介議員 ○○○○（署名又は記名押印）
 ※陳情の場合は不要
 （件名）○○○○について
 請願（陳情）要旨 ○○○・・・
 請願（陳情）事項 ○○○・・・



議会事務局からのお知らせ

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご覧になることができます。

☆議会中継をインターネットにより動画配信しています！！

田村市議会では、インターネットを活用し、本会議中継を動画配信（ライブ及び録画）しております。市のホームページからアクセスしていただくと、代表質問や一般質問などの映像をご覧いただくことができます。

なお、ライブ配信は議会開催中に、録画配信は議会閉会后1週間程度でご覧になることができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☆市民の声を募集しています！！

議会や市政全般に対するご意見・ご要望などを360字程度で住所、氏名をご記入いただき、顔写真を同封（添付）して持参、郵送、メールにより議会事務局までご寄稿ください。

なお、ご寄稿していただきました原稿について、「市民の声掲載基準」に基づき、掲載の可否を判断いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



☆市政だより、議会だよりをスマホ用アプリ『マチイロ』でご覧いただけます！！

「たむら市政だより」、「たむら議会だより」をもっと多くの皆さんに読んでいただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」を導入しました。この無料アプリをダウンロードすると、いつでもどこでもスマートフォンなどで「市政だより」や「議会だより」を読むことができます。

ダウンロード方法など詳しくは「マチイロ」のホームページをご覧ください！



☆アドレス☆ <http://machihiro.town/>



シリーズ 市民の声



あいさつについて

田村市都路町

吉田 寛子さん

田村っ子のルール10に「あいさつをしよう」という項目があります。当たり前のことを、当たり前と思って、当たり前に行動するために掲げられたルールです。普段の生活であいさつについて考えさせられるときがよくあります。

それは、地域子どもたちとあいさつを交わす機会が少ないことです。私から声をかけてもあまり反応がなく、寂しい気持ちになったときがあります。物騒な世の中ですから、他人とあまり関わりたくないという考えもあるかもしれません。

しかし、地域子どもたちとあいさつを交わすとほっと心が和みます。ほんの一言がコミュニケーションとなり、見守りの役割も果たすと思います。決して大げさなことではなく、日々のあいさつで子どもと大人がお互いに通じ合えるのではないのでしょうか。当たり前にあいさつができる田村市になってほしいと思います。



シリーズ 若者の声



「TAMU LOVE PROJECT」を経験して

船引高校2年生

佐久間 有希さん (船引町出身)

私は学校行事で、田村市の活動や伝統に触れることができる「TAMU LOVE PROJECT」に参加し、地元で農業を営むさくま農園さんと、町の先生のお話を聞いたり、野菜の収穫をしたりするという体験をしました。そこで私は、農業をすることの苦労やたくさんの努力によって愛情を込められた野菜が私たちの身近で作られているということを知りました。

私は田村市に良いところがたくさんあると思っています。今回、農業を体験して、普段はできない貴重な経験ができ、これまで以上に地元の野菜に関心を持ち、もっと多くの地域にこの田村市の野菜とそこに込められた愛情が伝われば良いと感じました。

そして、これから買い物をするときは、田村市の農家の方が丹精を込めて作った野菜を自分から進んで買い、地元の活性化に少しでも繋げて行きたいと思っています。



☆9月定例会の開催予定☆

9月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

9月3日 (月)	初日 (招集日) 会期の決定、提案理由の説明等議事調査
9月5日 (水)	代表質問
9月6日 (木)	一般質問
9月7日 (金)	一般質問
9月10日 (月)	一般質問
9月11日 (火)	総括質疑、議案等の常任委員会付託 各常任委員会審査
9月12日 (水)	予算常任委員会審査
9月13日 (木)	決算特別委員会審査
9月14日 (金)	決算特別委員会審査
9月18日 (火)	決算特別委員会審査
9月19日 (水)	決算特別委員会審査
9月21日 (金)	最終日 各常任委員会審査結果報告、質疑、討論、採決



平成30年6月定例会の傍聴者

6月定例会は、延べ82人の方が傍聴されました。



編集後記

新議員による初の6月定例会も終わり、暑さもますます厳しく、秋が待ち遠しいです。

今号は、用語の解説や漢字にふりがなをつけるなど、より分かりやすい紙面づくりに努めました。

今後とも、議会に対するご意見・ご要望をお寄せいただき、「開かれた議会」を目指していきます。



〈委員長〉 白石 勝彦
 〈副委員長〉 二瓶恵美子
 〈委員〉 白石 高司
 安瀬 信一
 渡邊 照雄
 木村 高雄

☆田村市議会ホームページアドレス☆

<http://www.city.tamura.lg.jp/site/gikai/>

